

① 学年より

中学校で初めての合唱コンクールがありました。小学校ではコロナ禍の生活で、歌を歌う機会そのものがなかった子たちですが、合唱コンクールに向けて、練習に練習を重ね、それぞれのクラスの色が出た素晴らしい合唱を披露してくれました。

この冬休みは、学習の振り返りをしながらも、お正月など家族の時間を大切にしてほしいと思います。2学期も1学年の教育活動に御協力いただき、ありがとうございました。よいお年をお迎えください。

② 学年より

12月は蔵前工科高校の体験授業や台東区の音楽鑑賞教室にも参加しました。体験授業では各コースに分かれ、キーホルダーを作成したグループもあれば、プログラミングを学習したところもあり、充実した時間を過ごすことができました。鑑賞教室では、スターウォーズのメインテーマからはじまり、楽器の紹介や皆で手拍子する場面もあり、本物のオーケストラを初めて聴く生徒らにとって、とても分かりやすく、貴重な時間を過ごすことができました。2学期も行事がたくさんあり、忙しい学期となりました。それらに向けて学年全体で前向きに取り組むことができました。また、後期からは、委員会など学校の中心として動き出しました。今後の行事も含め、学年全員で乗り越え、成長につなげられればと考えています。今年もご理解ご協力いただき、ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いたします。

③ 学年より

3年生は受験に向けてラストスパートの時期となりました。11・12月の二度の面談を無事に終え、それぞれの目標とする進路先も定まってきました。現在、生徒は学習はもちろんですが、学習以外の受験に必要な面接の練習や自己PRカードの作成などにも力を入れています。特に面接は、校長先生と行うことで、より本番に近い緊張感をもって臨むことができます。年が明けると、都立・私立高校の推薦受験の出願が始まり、本格的に受験シーズンとなります。体調管理にも気を配り、自信をもって臨んでもらいたいと思います。

A 組より

2学期のA組は、区内特別支援学級の合同行事や校内の行事が多数あり、充実していたので、あっという間に学期末を迎えてしまいました。昨年度は参加できなかった運動会や立志式などの学校行事にも、交流学級として参加することができました。特に立志式では緊張感のある会場の舞台上で発表する経験ができました。その姿を、後輩たちが見守る姿に新たな伝統が根付こうとしています。

また、教室内での教え合いや学び合いが見られるようになり、集団生活の大切さを再確認させられた2学期でした。引き続き、3学期もよろしくお願いたします。

令和6年度 特別支援教育支援員を募集しています!

特別支援教育支援員は、生活のスピードがゆっくりであったり、自分の気持ちを上手に表現することが苦手であったりする子供たちをサポートします。子供たち一人一人の状況に応じて適切な支援を行うことで、子供たちは学校で安心して健やかな生活を送ることができます。

身近に特別支援教育支援員として紹介できる方がいらっしゃいましたら、台東区公式ホームページをご覧ください。か、台東区立教育支援館(5246-5921)にお電話くださいますようお願いいたします。ただし、お子様が在籍している学校園での勤務はできません。

幸せな生き方を考える第一歩

12月になり、3年生は個々の進路決定に向かっていきます。3年生全員と校長との「校長面接」も始まりました。そのなかで、「中学校卒業後の進路希望」を尋ね、もし上級学校を希望した場合には、「志望理由」、「その学校で何をやりたいのか」と、質問していきます。それぞれに夢や希望を語ってくれています。そして社会人になるに当たり、「人の喜ぶ姿が好きです」「困っている人を助けてあげたいです」「世界に出て地球規模で活躍したいです」「海外でレベルアップしたいです」と未来社会を担っていく力強い答えが返ってきます。その3年生の姿から、義務教育を修了する段階での「進路決定」は、自分がこれからどのような生き方をしていきたいかを、自分自身に問いかけていく第一歩であると感じています。そして、それぞれが幸せになる生き方、人を幸せにする生き方を見つけていってほしいと同時に思っています。この進路決定を通して、中学校を共に過ごした仲間と今後も励まし合い、ときには教え合うことができる関係を続けていくことを願っています。

また、2年生の立志式、1年生の合唱コンクールでの姿から、1、2年生も3年生の姿を引き継いでいると確信しています。

新しい年が全校生徒にとって、さらに飛躍する年となりますことを祈念しております。

保護者、地域の皆様におかれましては、今年も多くのご理解、ご支援を賜りありがとうございました。良いお年をお迎えください。

校長室より
渡邊 渉

立志式

12月2日(土)に、立志式を行いました。立志を迎えた2年生は、自分の将来の生き方について考え、一人一人が「こころざし」を宣誓しました。夢や目標を表す言葉を漢字1字に表した「立志の書」と共に、代表生徒4名が将来に向けた決意を述べました。全員が立派な態度で臨め、多くのお褒めの言葉もいただくことができました。これを自信に変え、生徒一人一人が自ら人生を切り開いていってもらえればと思います。



助



認



優



強

1組 『私になりたい将来の夢』
職業体験では保育園で仕事を体験。子供たちを笑顔にできることは幸せなことだと気づき、保育士になる夢を決意した。

2組 『姉としての自覚』
長女として、自分の行動が妹たちに影響を与えることを自覚し、責任ある発言や行動ができる大人を目指していく。

3組 『優しく寄り添う教師』
誰にでも優しく寄り添える教師になるために、正しい判断と行動ができ、周りの人を幸せな気持ちにできる人を目指していく。

4組 『目指す人物像』
尊敬する父親のように、人に力を与えられる明るさと心の強さをもつ大人になるために、色々なことに挑戦し、成長していく。



仁義礼智信

12月になるとよく聞こえてくる曲...それはベートーヴェンの「第九」です。学生の頃、学内でこの「第九」演奏会があり、友人に誘われ一緒に合唱のメンバーと出演したことを思い出します。

そのベートーヴェンは、1798年ごろから聴覚に異常を感じるようになります。その後、聴覚を奪われ、自ら命を絶つことを考え、遺書を残すまで追い込まれています。

その中で生まれたのが、先の「第九」です。ベートーヴェンは、「悔しくとも、悲しくとも、また、前へ、前へと進むんだ。ベートーヴェンは、苦悩を突き抜けて歓喜へ」と記しています。

人生に於いては、ある意味苦悩の連続かもしれない。しかし、苦悩を突き抜けた時には、勝利と歓喜の青空が広がっている。そう思えば、苦悩もまた楽しい。

これから、3年にとっては、受験に向けて、大山の冬休み。1、2年生も様々、悩みも様々あるかもしれませんが。その悩み、苦悩を突き抜ければ、歓喜が広がっている。そう信じて、じっと堪えて、頑張るのみです。

第186号

令和5年12月25日(月)

発行

台東区立浅草中学校

〒111-0051

台東区蔵前1-3-4

TEL 03(3866)5169

HP

https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1320115

